

あま市 校務D X計画

あま市教育委員会においては、児童生徒1人1台タブレット端末を導入後、授業支援システム及び有償ドリル教材を整備し、教室には大型提示装置を整備することで児童生徒への授業のデジタル技術活用を進めてきました。

また、令和5年度には採点支援システムを導入し、採点に係る時間を短縮するなど教職員の働き方改革を推進してきました。

上記のようにデジタル技術活用を進めてきましたが、学校現場では依然として紙を印刷しての資料、連絡のやり取りが多くみられ、クラウドサービスを利活用した校務をほとんど行っていない状況です。

あま市教育委員会として、教職員の働き方改革及び業務の円滑化・効率化の観点から、学校現場でのペーパーレス化及びクラウドサービスの利活用を進めていく必要があります。

「G I G Aスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、具体的な取り組みを次のとおり定めます。

1. F A X及び押印の原則廃止

あま市は、令和6年9月に小中学校に対して調査を行い、小中学校と各種行政機関及び事業者との連絡においてF A Xを使用している状況を確認しました。電子メールよりもF A Xのほうが効率的な場合など一部を除き、F A X及び押印の原則廃止に向けて、市教育委員会から慣行・慣習の見直しを依頼するなど働きかけていき、令和7年度末までにF A X及び押印を原則廃止とします。

2. ペーパーレスの推進

現在、小中学校内の教職員会議等及び教職員と保護者間の連絡については、紙を印刷したものを使用しており、ペーパーレス化が進んでいません。

今後、校務用端末及びクラウドサービスの活用、保護者連絡ツールを導入し、教職員会議等の資料配布及び教職員と保護者間の連絡のペーパーレス化を進めていきます。

3. ゼロトラスト環境の構築

○校務系及び学習系ネットワークの統合

あま市では、児童生徒の個人情報の取り扱い、メールの送受信を行う「校務系」、教職員及び児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離しています。「校務系」については、仮想V P Nを利用したU S Bメモリ型認証キーを使用する場合を除いて、職員室内からでしかアクセスできない構成となっています。

令和7年度には、教職員用端末で職員室外からでも「校務系」の一部サーバにアクセス

出来るようにする予定です。

今後は、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、校務系・学習系ネットワークの統合を行い、ゼロトラストセキュリティの考え方に基づいたアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じたゼロトラスト環境の構築について検討していきます。

4. 教育ダッシュボードの創出

校務支援システム及び校務用サーバのデータである校務系データ、授業支援ソフトウェアやデジタルドリルにて蓄積した学習系データなど膨大な教育データを収集・分析・可視化するインターフェース（教育ダッシュボード）を構築し、そこから得られる情報を活用することにより、教職員の業務の円滑化・効率化につなげることが期待されています。

教育ダッシュボードが教職員の業務の円滑化・効率化にどれほど寄与するのか、先進自治体を調査研究し、校務支援システム及び校務用サーバを更新する令和12年9月までに教育ダッシュボードの構築を目指します。

令和6年度GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト

No.	教職員と保護者間の連絡のデジタル化 【完全にまたは一部（半分以上）しているか】	全国	本市
1	児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、学校内で集計していますか	75.5%	42.8%
2	業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付ける体制を整えていますか	27.9%	0.0%
3	学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信していますか	48.9%	42.9%
4	保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付けていますか	13.6%	0.0%
5	保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか	60.6%	35.7%
6	保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて行っていますか	12.7%	7.1%
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか	4.7%	0.0%
8	学校徴収金について、現金徴収ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して徴収金の徴収を行っていますか	76.8%	92.8%
No.	教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化 【完全にまたは一部（半分以上）しているか】	全国	本市

9	児童生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどの端末を、家庭で利用できるようにしていますか	39.1%	14.3%
10	児童生徒への各種連絡をクラウドサービスを用いて配信していますか	28.2%	7.1%
11	児童生徒への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか	54.0%	7.1%
12	宿題（学期中のもの）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか	18.0%	0.0%
13	宿題（長期休暇中）をクラウドサービスやデジタルドリル教材を用いて実施・採点していますか	17.1%	0.0%
14	クラウドサービス等を活用し、授業中の小テスト等にC B Tを取り入れていますか	36.5%	28.6%
No.	学校内の連絡のデジタル化 【完全にまたは一部（半分以上）しているか】	全国	本市
15	職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか	76.5%	71.4%
16	職員会議等における検討事項について、クラウドサービスを用いて事前に情報共有し、あらかじめ意見を求めていますか	29.3%	28.6%
17	職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか	3.1%	0.0%
18	職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか	77.0%	92.9%
19	学校内外の行事日程、施設や特別教室の利用予約等について、クラウドサービスを使って共有し、いつでも確認できるようにしていますか	31.8%	21.4%
20	教職員が作成した教材等をクラウド上で共有し活用していますか	39.7%	21.4%
21	授業研究会や校内研修等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか	7.2%	0.0%
22	校内研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか	45.9%	28.6%
23	授業研究会や校内研修等での協議にクラウドサービスを用いていますか	45.9%	21.4%
24	教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか	66.5%	28.5%
25	教職員から学校へ提出する事務手続き資料をクラウドサー	24.1%	0.0%

	ビスを用い、受け付けていますか		
26	学校から教職員に紙で提出を求めている書類はありますか	95.3%	100.0%
27	長期休暇期間（夏休み等）の教職員の動静調査をクラウドサービスを用いて実施・管理していますか	36.1%	14.3%
28	教員は校務用の個人メールアドレスが附与されていますか	82.2%	92.9%
No.	その他 【しているまたはできる・ある・任せている】	全国	本市
29	「FAXの利用が例外的に必要と考えられる業務」以外の日常の業務にFAXを使用していますか	77.1%	100%
30	業務で押印が必要な書類はありますか	92.7%	85.7%
31	1人1台端末のパスワードについて、教職員が把握し一括で管理するのではなく、児童生徒に管理を任せていますか	40.5%	0.0%
32	学級・学校経営に有効な教育データ等が、必要な職位に応じてアクセス権限が設定されるとともに、活用しやすいように整理され、閲覧できますか	83.4%	71.4%
33	「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」に基づき生成AIを校務で活用していますか	2.6%	7.1%